

しょう しゃふくしちょうきけいかくさくてい ちょうさ
障がい者福祉長期計画策定のためのアンケート調査
きょうりょく ねが
ご協力のお願い

しみん みな ひごろ ほんし しょう ふくしぎょうせい りかい きょうりょく
市民の皆さまには、日頃から、本市の障がい福祉行政にご理解とご協力をいただき、あり
がとうございます。

ほんし ねんど れいわ ねんど ねんど れいわ ねんど ねんかん けいかくきかん
本市では、2024年度（令和6年度）から2029年度（令和11年度）までの6年間を計画期間とす
る障がい者福祉長期計画の策定を進めています。このアンケート調査は、市民の皆さまの福祉
サービスの利用実態や福祉に関する意識、意向などを把握し、計画策定や施策推進に役立てるた
めの資料として活用させていただくもので、その目的以外には使用いたしません。

いそが たいへんもう わけ ちょうさ しゅし りかい きょうりょく
お忙しいところ大変申し訳ございませんが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただき
ますようお願いいたします。

れいわ ねん がつ あこうしちょう む れい まさ とし
令和4年11月 赤穂市長 牟礼正稔

きにゅう ねが
■ご記入にあたってのお願い

- 1 封筒の宛名のご本人のことについてご回答ください。ご本人が直接回答すること
が難しい場合は、家族や介助者の方がご本人の意向を尊重してご記入ください。
- 2 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。質問への回答方法は、それぞれ質問
文に記載していますので、質問文をよく読んでお答えください。
- 3 質問によっては、特定の方だけに答えていただくものがあります。答えたくない
質問などに対しては、無理にお答えいただかなくても結構です。
- 4 記入が終わりましたら、●月●日までに、同封の返信用封筒を使って無記名でご投函
ください。切手は不要です。
- 5 アンケート結果は、自由意見記載欄も含め公開しますので、個人を特定するような
情報や誹謗中傷は記載しないでください。

あこうし けんこうふくしぶ しゃかいふくしか しょう ふくしがかり
赤穂市 健康福祉部 社会福祉課 障がい福祉係

でんわ ファックス
電話：0791-43-6833 FAX：0791-45-3396

メール：shougai@city.ako.lg.jp

とい きにゆう
問1 ご記入いただくのは、どなたですか。(○は1つ)

1. ご本人 (封筒の宛名の方) 2. ご本人の家族 3. 家族以外の介助者

ねんれい せいべつ
◆年齢・性別などについて

とい ねんれい こた すうじ きにゆう
問2 年齢をお答えください。(数字を記入)

まん さい れいわ ねん がつ にちじてん
満 歳 (令和4年11月1日時点)

とい せいべつ こた だんじょ たく えら ばあい
問3 性別をお答えください。※男女の2択では選べない場合は3に○をつけてください。

1. 男性 2. 女性 3. その他

とい す ちく こた
問4 お住まいの地区をお答えください。(○は1つ)

1. 赤穂地区 2. 城西地区 3. 塩屋地区
4. 西部地区 5. 尾崎地区 6. 御崎地区
7. 坂越地区 8. 高雄地区 9. 有年地区

しょう じょうきょう
◆障がいの状況について

とい しんたいしょうがいしやてちよう も
問5 身体障害者手帳をお持ちですか。(○は1つ)

1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. 4級
5. 5級 6. 6級 7. 持っていない

とい しんたいしょうがいしやてちよう も ばあい しゅ しょう こた
問6 身体障害者手帳をお持ちの場合、主たる障がいをお答えください。(○は1つ)

1. 視覚障がい 2. 聴覚障がい・平衡機能障がい
3. 音声・言語・そしゃく機能障がい 4. 肢体不自由 (上肢)
5. 肢体不自由 (下肢) 6. 肢体不自由 (上肢下肢両方・体幹含む)
7. 内部障がい (1～6以外)

問7 療育手帳をお持ちですか。(〇は1つ)

1. A 2. B1 3. B2 4. 持っていない

問8 精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(〇は1つ)

1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. 持っていない

問9 難病(指定難病)の認定を受けていますか。(〇は1つ)

1. 受けている 2. 受けていない

問10 発達障がい※として診断されたことがありますか。(〇は1つ)

※「発達障がい」とは、自閉症、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいなどの脳機能障がい、通常低年齢でその症状が発現するものです。

1. ある 2. ない

問11 自立支援医療受給者証(精神通院)をお持ちですか。(〇は1つ)

1. 持っている 2. 持っていない

問12 現在受けている医療的ケアをお答えください。(あてはまる番号すべてに〇)

- | | |
|------------------|---------------------------------|
| 1. 気管切開 | 2. 人工呼吸器(レスピレーター) |
| 3. 吸入 | 4. 吸引(たん吸引) |
| 5. 胃ろう・腸ろう | 6. 鼻腔経管栄養 |
| 7. 中心静脈栄養(IVH) | 8. 透析(人工透析・腹膜透析) |
| 9. カテーテル留置 | 10. ストマ(人工肛門・人工膀胱) |
| 11. 服薬管理 | 12. その他() |
| 13. 医療的ケアは受けていない | |

暮らしについて

問13 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。(それぞれ1つに○)

項目	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要
① 食事・入浴・トイレなどの日常動作	1	2	3
② 料理・掃除・洗濯などの家事	1	2	3
③ 薬の管理	1	2	3
④ 通勤・通学・通院・買い物などの外出	1	2	3
⑤ 家族以外の人との意思疎通	1	2	3
⑥ お金の管理	1	2	3
⑦ 緊急時の避難・連絡	1	2	3

※全て「ひとりでできる」と回答された方は
問16へお進みください。

問14へ

【問14は、問13で「一部介助が必要」または「全部介助が必要」と答えた方】

問14 介助してくれる方は主に誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 父・母	2. 祖父・祖母
3. 兄弟姉妹	4. 近所の方や友人・知人
5. ホームヘルパーや施設の職員	6. ボランティア
7. 手話通訳者や要約筆記者	8. その他 ()
9. 特にいない	

【問15は、問14で「1. ～3.」を選んだ方】

問15 介助してくれる家族で、中心となっている方についてお答えください。

(1) 年齢 (数字を記入) 満 歳 (令和4年11月1日時点)

(2) 就労状況 (○は1つ)

1. 働いている	2. 働いていない
----------	-----------

(3) 健康状態 (○は1つ)

1. よい	2. ふつう	3. よくない
-------	--------	---------

◆ 将来の暮らしについて

問16 学校等の卒業後の進路についてどのように考えていますか。(〇は1つ)

1. 職業訓練を受けたい、資格を修得したい
2. 通所施設や作業所を利用したい
3. 一般の民間会社や公的機関などで働きたい
4. 入所施設を利用したい
5. さらに学業に専念したい
6. 卒業後の進路はまだ考えていない
7. その他 ()

問17 将来、どのような暮らしをしてみたいと考えていますか。(あてはまる番号すべてに〇)

1. 自宅で、介助や支援を受けながら、ひとりで暮らす
2. 自宅で、介助や支援を受けながら、家族などと一緒に暮らす
3. グループホームなどで、介助や支援を受けながら暮らす
4. 障がいのある人のための施設で暮らす
5. 将来の生活についてはまだ考えていない
6. その他 ()

問18 今後、地域で生活を継続するためには、どのような支援があればよいと思いますか。
(あてはまる番号すべてに〇)

1. 在宅で医療的ケアなどが適切に受けられること
2. 障がいのある人が共同生活を行うグループホームなどの確保
3. 必要な在宅サービスが適切に利用できること
4. 生活訓練などの充実
5. 経済的な負担の軽減
6. 相談対応などの充実
7. 地域住民などの理解
8. コミュニケーションについての支援
9. その他 ()

◆日中活動について

問19 1週間しゅうかんにどの程度外出ていどがいしゅつしますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------------------|---|
| 1. 毎日 <small>まいにちがいしゅつ</small> 外出する | 2. 1週間 <small>しゅうかん</small> に数回 <small>すうかいがいしゅつ</small> 外出する |
| 3. めったに <small>がいしゅつ</small> 外出しない | 4. まったく <small>がいしゅつ</small> 外出しない |

問20 外出がいしゅつする時に困ときることは何こまですか。(あてはまる番号ばんごうすべてに○)

- | | |
|--|--|
| 1. 公共交通機関 <small>こうきょうこうつうきかん</small> が少ない | 2. 列車 <small>れっしゃ</small> やバス <small>の</small> の乗り降り <small>のお</small> が困難 <small>こんなん</small> |
| 3. 道路 <small>どうろ</small> や駅 <small>えき</small> に階段 <small>かいだん</small> や段差 <small>だんさ</small> が多い | 4. 外出先 <small>がいしゅつさき</small> の建物 <small>たても</small> の設備 <small>せつび</small> が不便 <small>ふべん</small> |
| 5. 切符 <small>きっぷ</small> の買い方 <small>か</small> や乗換え <small>かた</small> の方法 <small>のりか</small> がわかりにくい | 6. 介助者 <small>かいじょしゃ</small> が確保 <small>かくほ</small> できない |
| 7. 困 <small>こま</small> った時 <small>とき</small> にどうすればいいの <small>しんぱい</small> か心配 | 8. 外出 <small>がいしゅつ</small> にお金 <small>かね</small> がかかる |
| 9. 発作 <small>ほっさ</small> など突然 <small>とつぜん</small> の身体 <small>しんたい</small> の変化 <small>へんか</small> が心配 <small>しんぱい</small> | 10. 周囲 <small>しゅうい</small> の目 <small>め</small> が気 <small>き</small> になる |
| 11. その他 <small>た</small> () | 12. 困 <small>こま</small> ることはない |

問21 平日へいじつの日中にっちゅうを主おもにどのように過すぎしていますか。(○は1つ)

- | | |
|---|--|
| 1. 自宅 <small>じたく</small> で過 <small>す</small> ぎしている | 2. 保育所 <small>ほいくじょ</small> ・幼稚園 <small>ようちえん</small> ・認定こども園 <small>にんていこどもえん</small> に通 <small>かよ</small> っている |
| 3. 小学校 <small>しょうがっこう</small> ・中学校 <small>ちゅうがっこう</small> に通 <small>かよ</small> っている | 4. 高等学校 <small>こうとうがっこう</small> や専門学校 <small>せんもんがっこう</small> などに通 <small>かよ</small> っている |
| 5. 入所施設 <small>にゅうしょしせつ</small> で過 <small>す</small> ぎしている | 6. 通所施設 <small>つうしょしせつ</small> などに通 <small>かよ</small> っている |
| 7. 通園施設 <small>つうえんしせつ</small> に通 <small>かよ</small> っている | 8. 特別支援学校 <small>とくべつしえんがっこう</small> に通 <small>かよ</small> っている |
| 9. その他 <small>た</small> () | |

【問22は、問21で「2. ～8.」を選えらんだ方かた】

問22 学校がっこうや施設しせつなどで困こまっていることがありますか。(あてはまる番号ばんごうすべてに○)

- | | |
|--|--|
| 1. 介助 <small>かいじょ</small> が十分 <small>じゅうぶん</small> に得 <small>え</small> られない | 2. コミュニケーション <small>と</small> が取りにくい |
| 3. 医療的ケア <small>いりょうてき</small> が受 <small>う</small> けられない | 4. 障がい者 <small>しょうがいしゃ</small> に配慮 <small>はいりよ</small> された設備 <small>せつび</small> になっていない |
| 5. 友達 <small>ともだち</small> ができない | 6. 障がい <small>しょうがい</small> の特性 <small>とくせい</small> に応じた教育 <small>おう</small> ・指導 <small>きょういく</small> が得 <small>え</small> られない |
| 7. 障がい <small>しょうがい</small> に対する教職員 <small>たい</small> や児童生徒 <small>きょうしよくいん</small> の理解 <small>じどうせいと</small> が十分 <small>りかい</small> でない | |
| 8. その他 <small>た</small> () | 9. 困 <small>こま</small> っていることは特 <small>とく</small> にない |

しょうがいふくし りよう
◆ 障害福祉サービスなどの利用について

とひ つぎ しょうがいふくし じどうつうしょしえん げんざい りようじようきよう こんご
問23 次の障害福祉サービスおよび児童通所支援について、「現在の利用状況」と「今後の利用意向」の両方をお答えください。（それぞれ1つに○）

しょうがいふくし 障害福祉サービス	げんざい りようじようきよう 現在の利用状況		こんご りよういこう 今後の利用意向	
	りようちゆう 利用中	りようなし 利用なし	りようしたい 利用したい	りようしない 利用しない
① 居宅介護（ホームヘルプ） じたく にゆうよく しょくじ つういん かいじよ 自宅での入浴や食事、通院などを介助する。	1	2	1	2
② 重度訪問介護 じゅうど しょう がいがあつね かいご ひつよう ひと じたく 重度の障がいがあり常に介護が必要な人に、自宅 でのかいじよや外出時の移動を補助する。	1	2	1	2
③ 同行援護 しかくしょう いどう いちじる こんなん ひと 視覚障がいにより移動が著しく困難な人に、 がいしゅつ ひつよう じようほうていきよう いどうえんご おこな 外出に必要な情報提供や移動援護を行う。	1	2	1	2
④ 行動援護 ちてきしょう せいしんしょう つね かいご 知的障がいや精神障がいにより常に介護が ひつよう ひと こうどう 必要の人に、行動するとき必要なかいじよやがいしゅつ じ 移動を補助する。	1	2	1	2
⑤ 重度障害者等包括支援 かいご ひつよう ていど いちじる たか しょう しゃ 介護の必要の程度が著しく高い障がい者に きよたくかいご ほうかつてき ていきよう 居宅介護などのサービスを包括的に提供する。	1	2	1	2
⑥ 短期入所（ショートステイ） ざいたく しょう しゃ かいごしゃ びようき ばあい 在宅の障がい者の介護者が病気の場合などに しょう しゃ しせつ たんきかんにゆうしょ にゆうよく はい 障がい者が施設に短期間入所し、入浴、排せ つ、食事の介護などを行う。	1	2	1	2
⑦ 児童発達支援 にちじようせいかつ どうさ しどう ちしきぎのう ふよ しゅうだん 日常生活の動作の指導、知識技能の付与、集団 せいかつ てきおうくんれん しえん おこな 生活への適応訓練などの支援を行う。	1	2	1	2
⑧ 医療型児童発達支援 にちじようせいかつ どうさ しどう ちしきぎのう ふよ しゅうだん 日常生活の動作の指導、知識技能の付与、集団 せいかつ てきおうくんれん しえん ちりよう おこな 生活への適応訓練などの支援と治療を行う。	1	2	1	2

しょうがいふくし 障害福祉サービス	げんざい りようじょうきょう 現在の利用状況		こんご りよういこう 今後の利用意向	
	りようちゆう 利用中	りようなし 利用なし	りよう 利用したい	りよう 利用しない
⑨ 放課後等デイサービス <small>ほうかご がっこう きゅうこうび せいかつうりよくこうじょう</small> 放課後や学校の休校日に、生活能力向上の <small>くんれん しゃかい こうりゅうそくしん しえん おこな</small> 訓練や社会との交流促進などの支援を行う。	1	2	1	2
⑩ 保育所等訪問支援 <small>ほいくしょ ほうもん しょう じ しゅうだんせいかつ</small> 保育所などを訪問し、障がい児に集団生活へ <small>てきおう せんもんてき しえん おこな</small> の適応のための専門的な支援などを行う。	1	2	1	2
⑪ 居宅訪問型児童発達支援 <small>じゅうどしやう じやうたい がいしゆつ いちじる</small> 重度障がいの状態などで外出が著しく <small>こんなん しょう じ じたく ほうもん にちじょうせいかつ</small> 困難な障がい児に、自宅を訪問し、日常生活 <small>どうさ しどう ちしきぎのう ふよ くんれんなど おこな</small> 動作の指導、知識技能の付与、訓練等を行う。	1	2	1	2
⑫ 障害児相談支援 <small>ふくし かん もんだい かいごしゃ そうだん おう ひつよう</small> 福祉に関する問題や介護者からの相談に応じて、必要 <small>じょうほう ていきやう じよげん おこな</small> な情報の提供や助言などを行う。	1	2	1	2

◆相談相手や情報源について

問24 普段、悩みや困ったことをだれ（どこ）に相談しますか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 家族や親せき	2. 友人・知人
3. 近所の人	4. 保育所、幼稚園、学校の先生
5. 施設の職員など	6. 障がい者に関する団体や家族会
7. 障がい者相談員	8. かかりつけの医師や看護師
9. 病院のケースワーカー、介護保険のケアマネジャー、ソーシャルワーカー	
10. 相談支援事業所などの民間の相談窓口	11. ホームヘルパーなどサービス事業所の人
12. 民生委員・児童委員	13. 市の相談窓口
14. 県や国の相談窓口	15. どこへ相談したら良いかわからない
16. その他（	）

問25 障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから入手していますか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 本や新聞、テレビ、ラジオ | 2. インターネットやSNS |
| 3. 市の広報紙 | 4. 家族や親せき、友人・知人 |
| 5. 障がい者に関する団体や家族会 | 6. サービス事業所の人や施設職員 |
| 7. 保育所、幼稚園、学校の先生 | 8. 病院などの医療機関 |
| 9. 相談支援事業所 | 10. 市の相談窓口 |
| 11. その他 () | |

◆権利擁護について

問26 障がいがあることで差別や嫌な思いをする(した)ことがありますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------|---------|-------|
| 1. ある | 2. 少しある | 3. ない |
|-------|---------|-------|

問27へ

【問27は、問26で「1.」または「2.」(ある)を選んだ方】

問27 どの場面や場所で差別や嫌な思いをしましたか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 学校等の通学・通園先 | 2. 市役所等の行政窓口 |
| 3. 余暇を楽しむとき | 4. 近所付き合いや地域活動のとき |
| 5. 公共交通機関を利用するとき | 6. 買い物・食事のとき |
| 7. その他 () | |

◆災害時の避難について

問28 火事や地震などの災害時に一人で逃げられますか、または避難できますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------|---------|----------|
| 1. できる | 2. できない | 3. わからない |
|--------|---------|----------|

問29 災害時に家族が不在の場合、近所に助けてくれる人はいますか。(〇は1つ)

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. いる | 2. いない | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

問30 火事や地震などの災害時に困ることは何ですか。(あてはまる番号すべてに〇)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 投薬や治療が受けられない | 2. 補装具の使用が困難になる |
| 3. 補装具や日常生活用具の入手に困る | 4. 救助を求めることができない |
| 5. 安全な場所までスムーズに避難できない | 6. 被害や避難場所の情報への入手に困る |
| 7. 周囲とコミュニケーションがとれない | 8. 避難場所の設備や生活環境への不安 |
| 9. その他 () | 10. 特にない |

◆本市の施策について

問31 本市の障がい福祉の取り組みについてどれくらい満足していますか。(〇は1つ)

- | | | |
|----------|----------|--------|
| 1. 非常に満足 | 2. やや満足 | 3. ふつう |
| 4. やや不満 | 5. 非常に不満 | |

問32 障がい児(者)が安心して住み続けられるまちづくりを進めるうえで、次のどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。(あてはまる番号すべてに〇)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 地域における相談・支援体制の充実 | 2. 障がい者の就労や就労定着の支援 |
| 3. 医療的ケアが必要な障がい児(者)への支援 | 4. 障がい児(者)の余暇活動の場や機会の充実 |
| 5. 障がいに対する市民への理解の促進 | 6. 障がい児(者)差別の解消 |
| 7. 発達障がい児(者)への支援 | 8. 障がい児(者)スポーツ・文化の普及啓発 |
| 9. その他 () | |

問33 最後に、障がい児(者)福祉へのご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

きょうりよく
ご協力ありがとうございました。

しょう しゃふくしちょうきけいかくさくてい ちょうさ
障がい者福祉長期計画策定のためのアンケート調査
きょうりょく ねが
ご協力のお願い

しみん みな ひごろ ほんし しょう ふくしぎょうせい りかい きょうりょく
市民の皆さまには、日頃から、本市の障がい福祉行政にご理解とご協力をいただき、あり
がとうございます。

ほんし ねんど れいわ ねんど ねんど れいわ ねんど ねんかん けいかくきかん
本市では、2024年度（令和6年度）から2029年度（令和11年度）までの6年間を計画期間とす
る障がい者福祉長期計画の策定を進めています。このアンケート調査は、市民の皆さまの福祉
サービスの利用実態や福祉に関する意識、意向などを把握し、計画策定や施策推進に役立てるた
めの資料として活用させていただくもので、その目的以外には使用いたしません。

いそが たいへんもう わけ ちょうさ しゅし りかい きょうりょく
お忙しいところ大変申し訳ございませんが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただき
ますようお願いいたします。

れいわ ねん がつ あこうしちょう む れい まさ とし
令和4年11月 赤穂市長 牟礼正稔

きにゅう ねが
■ご記入にあたってのお願い

- 1 封筒の宛名のご本人のことについてご回答ください。ご本人が直接回答すること
が難しい場合は、家族や介助者の方がご本人の意向を尊重してご記入ください。
- 2 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。質問への回答方法は、それぞれ質問
文に記載していますので、質問文をよく読んでお答えください。
- 3 質問によっては、特定の方だけに答えていただくものがあります。答えたくない
質問などに対しては、無理にお答えいただかなくても結構です。
- 4 記入が終わりましたら、●月●日までに、同封の返信用封筒を使って無記名でご投函
ください。切手は不要です。
- 5 アンケート結果は、自由意見記載欄も含め公開しますので、個人を特定するような
情報や誹謗中傷は記載しないでください。

あこうし けんこうふくしぶ しゃかいふくしか しょう ふくしがかり
赤穂市 健康福祉部 社会福祉課 障がい福祉係

でんわ ファックス
電話：0791-43-6833 FAX：0791-45-3396

メール：shougai@city.ako.lg.jp

とい きにゆう
問1 ご記入いただくのは、どなたですか。(○は1つ)

1. ご本人 (封筒の宛名の方) 2. ご本人の家族 3. 家族以外の介助者

ねんれい せいべつ
◆年齢・性別などについて

とい ねんれい こた すうじ きにゆう
問2 年齢をお答えください。(数字を記入)

まん さい れいわ ねん がつ にちじてん
満 歳 (令和4年11月1日時点)

とい せいべつ こた だんじょ たく えら ばあい
問3 性別をお答えください。※男女の2択では選べない場合は3に○をつけてください。

1. 男性 2. 女性 3. その他

とい す ちく こた
問4 お住まいの地区をお答えください。(○は1つ)

1. 赤穂地区 2. 城西地区 3. 塩屋地区
4. 西部地区 5. 尾崎地区 6. 御崎地区
7. 坂越地区 8. 高雄地区 9. 有年地区

しょう じょうきょう
◆障がいの状況について

とい しんたいしょうがいしやてちよう も
問5 身体障害者手帳をお持ちですか。(○は1つ)

1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. 4級
5. 5級 6. 6級 7. 持っていない

とい しんたいしょうがいしやてちよう も ばあい しゅ しょう こた
問6 身体障害者手帳をお持ちの場合、主たる障がいをお答えください。(○は1つ)

1. 視覚障がい 2. 聴覚障がい・平衡機能障がい
3. 音声・言語・そしゃく機能障がい 4. 肢体不自由 (上肢)
5. 肢体不自由 (下肢) 6. 肢体不自由 (上肢下肢両方・体幹含む)
7. 内部障がい (1～6以外)

問7 療育手帳をお持ちですか。(〇は1つ)

- | | | | |
|------|-------|-------|-----------|
| 1. A | 2. B1 | 3. B2 | 4. 持っていない |
|------|-------|-------|-----------|

問8 精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(〇は1つ)

- | | | | |
|-------|-------|-------|-----------|
| 1. 1級 | 2. 2級 | 3. 3級 | 4. 持っていない |
|-------|-------|-------|-----------|

問9 難病(指定難病)の認定を受けていますか。(〇は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 受けている | 2. 受けていない |
|----------|-----------|

問10 発達障がい※として診断されたことがありますか。(〇は1つ)

※「発達障がい」とは、自閉症、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいなどの脳機能障がい、通常低年齢でその症状が発現するものです。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問11 自立支援医療受給者証(精神通院)をお持ちですか。(〇は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 持っている | 2. 持っていない |
|----------|-----------|

問12 現在受けている医療的ケアをお答えください。(あてはまる番号すべてに〇)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 気管切開 | 2. 人工呼吸器(レスピレーター) |
| 3. 吸入 | 4. 吸引(たん吸引) |
| 5. 胃ろう・腸ろう | 6. 鼻腔経管栄養 |
| 7. 中心静脈栄養(IVH) | 8. 透析(人工透析・腹膜透析) |
| 9. カテーテル留置 | 10. ストマ(人工肛門・人工膀胱) |
| 11. 服薬管理 | 12. その他() |
| 13. 医療的ケアは受けていない | |

◆暮らしについて

問13 現在どのように暮らしていますか。また、今後、5年以内で暮らしたいと思う場所はどれですか。（「現在」と「5年以内」のそれぞれ1つに○）
 ※入院・入所中の方は退院・退所した後のことをお答えください。

	現在	5年以内
1. 一人で暮らしている（暮らしたい）	1	1
2. 家族や親族と暮らしている（暮らしたい）	2	2
3. グループホーム・ケアホームで暮らしている（暮らしたい）	3	3
4. 入所施設（障がい者支援施設）で暮らしている（暮らしたい）	4	4
5. 入所施設（高齢者支援施設）で暮らしている（暮らしたい）	5	5
6. 病院に入院している	6	6
7. その他（ ）	7	7

問14 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。（それぞれ1つに○）

項目	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要
① 食事・入浴・トイレなどの日常動作	1	2	3
② 料理・掃除・洗濯などの家事	1	2	3
③ 薬の管理	1	2	3
④ 通勤・通学・通院・買い物などの外出	1	2	3
⑤ 家族以外の人との意思疎通	1	2	3
⑥ お金の管理	1	2	3
⑦ 緊急時の避難・連絡	1	2	3

※全て「ひとりでできる」と回答された方は問17へお進みください。

問15へ

【問15は、問14で「一部介助が必要」または「全部介助が必要」と答えた方】

問15 介助してくれる方は主に誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1. 父母・祖父母・兄弟姉妹 | 2. 配偶者(夫または妻) |
| 3. 子ども・孫(その夫または妻を含む)など | 4. 近所の方や友人・知人 |
| 5. ホームヘルパーや施設の職員 | 6. ボランティア |
| 7. 手話通訳者や要約筆者 | 8. その他() |
| 9. 特にいない | |

【問16は、問15で「1. ~3.」を選んだ方】

問16 介助してくれる家族で、中心となっている方についてお答えください。

(1) 年齢(数字を記入) 満 歳(令和4年11月1日時点)

(2) 就労状況(○は1つ) 1. 働いている 2. 働いていない

(3) 健康状態(○は1つ) 1. よい 2. ふつう 3. よくない

問17 今後、地域で生活を継続するためには、どのような支援があればよいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------------------|--------------|
| 1. 在宅で医療的ケアなどが適切に受けられること | |
| 2. 障がいのある人が共同生活を行うグループホームなどの確保 | |
| 3. 必要な在宅サービスが適切に利用できること | |
| 4. 生活訓練などの充実 | 5. 経済的な負担の軽減 |
| 6. 相談対応などの充実 | 7. 地域住民などの理解 |
| 8. コミュニケーションについての支援 | |
| 9. その他() | |

◆日中活動について

問18 1週間しゅうかんにどの程度外出ていどがいしゅつしますか。(○は1つ)

1. 毎日まいにちがいしゅつ外出する

2. 1週間しゅうかんに数回すうかいがいしゅつ外出する

3. めったにがいしゅつ外出しない

4. まったくがいしゅつ外出しない ⇒問22へ

【問19から問21は、問18で「1. ~3.」を選んだ方

問19 どのような目的もくてきで外出がいしゅつすることが多いですか。(あてはまる番号ばんごうすべてに○)

1. 通勤つうきん・通学つうがく・通所つうしょ

2. 訓練くんれんやリハビリテーションいに行く

3. 医療機関いりょうきかんへの受診じゅしん

4. 買い物かものいに行く

5. 友人ゆうじん・知人ちじんに会うあ

6. 趣味しゅみやスポーツあをする

7. グループ活動かつどうに参加さんかする

8. 散歩さんぽいに行く

9. その他た ()

問20 主な移動手段いどうしゅだんはどのようなものですか。(あてはまる番号ばんごうすべてに○)

1. 自分で運転じぶん うんてんする自動車じどうしゃ

2. 家族かぞくなどが運転うんてんする自動車じどうしゃ

3. 自転車じてんしゃ、オートバイ

4. 車くるまいす、電動車でんどうくるまいす

5. 電車でんしゃ

6. 路線ろせんバス

7. 施設しせつなどの送迎そうげいバス

8. タクシーふくし、福祉ふくしタクシー

9. 徒歩とほ

10. その他た ()

問21 外出がいしゅつする時に困ときることは何なですか。(あてはまる番号ばんごうすべてに○)

1. 公共交通機関こうきょうこうつうきかんが少ないすく

2. 列車れっしゃやバスのの乗り降りおが困難こんなん

3. 道路どうろや駅えきに階段かいたんや段差だんさが多いおお

4. 外出先がいしゅつさきの建物たてもの設備せつびが不便ふべん

5. 切符きっぷの買い方かや乗換えかたの方法のりかがわかりにくいほうほう

6. 介助者かいじょしゃが確保かくほできない

7. 困った時こまにどうすればいいときのか心配しんぱい

8. 外出がいしゅつにお金かねがかかる

9. 発作ほっさなど突然とつぜんの身体しんたいの変化へんかが心配しんぱい

10. 周囲しゅういの目めが気になるき

11. その他た ()

12. 困こまることはない

◆ 就 労 について

問22 平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つ)

1. 収入を得る仕事をしている (正規雇用)
2. 収入を得る仕事をしている (パート・アルバイトなどの非正規雇用)
3. 収入を得る仕事をしている (福祉作業所など)
4. 収入を得る仕事をしている (自営業、農林水産業など) ※上記1～3以外
5. ボランティアなど、収入を得ない活動をしている
6. 専業主婦 (主夫) をしている
7. 福祉施設などに通っている
8. 病院などのデイケアに通っている
9. リハビリテーションを受けている
10. 自宅で過ごしている
11. 入所施設や病院などで過ごしている
12. 大学、専門学校、職業訓練校などに通っている
13. その他 ()

【問23は、問22で「1. ～4. 」を選んだ方】

問23 働いて得られる収入は月にいくらぐらいですか。(○は1つ)

1. 5万円未満
2. 5万円～10万円未満
3. 10万円～20万円未満
4. 20万円以上

【問24は、問22で「5. ～13. 」を選んだ方】

問24 今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。(最も近い番号1つに○)

1. 収入を得る仕事をしたい
2. 収入を得る仕事をしたくない
3. 仕事ができない
4. わからない

↓
問25へ

【問25は、問24で「1.～3.」を選んだ方】

問25 現在収入を得る仕事をしていない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 障がいや病気などのため | 2. 家事や育児がある |
| 3. 労働環境が合うところがない | 4. 労働条件(賃金)が合うところがない |
| 5. 通勤が困難 | 6. 働きたいが雇用されない |
| 7. 仕事をする必要がない | 8. 高齢のため |
| 9. まだ学生であるため | 10. その他() |

※問26は全員の方がお答えください。

問26 障がいがある人の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 通勤手段の確保 | 2. 勤務先のバリアフリーなどの配慮 |
| 3. 短時間勤務や勤務日数などの配慮 | 4. 在宅勤務の拡充 |
| 5. 職場の上司や同僚の障がいへの理解 | 6. 職場での介助や援助 |
| 7. 就労後の支援など職場と支援機関の連携 | 8. 企業ニーズに合った就労訓練 |
| 9. 就職や就労定着のための援助や相談 | 10. その他() |

◆ 障害福祉サービスなどの利用について

問27 障害支援区分の認定は何ですか。(○は1つ)

※障害福祉サービス受給者証の(二)の「障害支援区分」欄と同じものに○。

- | | | | |
|--------|--------|-----------|--------|
| 1. 区分1 | 2. 区分2 | 3. 区分3 | 4. 区分4 |
| 5. 区分5 | 6. 区分6 | 7. 受けていない | |

※地域生活支援事業受給者証のみの場合は「7. 受けていない」に○をしてください。

問28 介護保険によるサービスを利用していますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

問29 次の障害福祉サービスについて、「現在の利用状況」と「今後の利用意向」の両方をお答えください。（それぞれ1つに○）

障害福祉サービス	現在の利用状況		今後の利用意向	
	利用中	利用なし	利用したい	利用しない
① 居宅介護（ホームヘルプ） 自宅での入浴や食事、通院などを介助する。	1	2	1	2
② 重度訪問介護 重度の障がいがあり常に介護が必要な人に、自宅での介助や外出時の移動を補助する。	1	2	1	2
③ 同行援護 視覚障がいにより移動が著しく困難な人に、外出に必要な情報提供や移動援護を行う。	1	2	1	2
④ 行動援護 知的障がいや精神障がいにより常に介護が必要な人に、行動するとき必要な介助や外出時の移動を補助する。	1	2	1	2
⑤ 重度障害者等包括支援 介護の必要の程度が著しく高い障がい者に居宅介護などのサービスを包括的に提供する。	1	2	1	2
⑥ 生活介護 常に介護が必要な人に、施設での介護や創作的活動などの機会を提供する。	1	2	1	2
⑦ 自立訓練（機能訓練、生活訓練） 自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定の期間における身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を行う。	1	2	1	2
⑧ 就労移行支援 通常の事業所で働きたい人に、一定の期間、就労に必要な知識及び能力の向上のための訓練を行う。	1	2	1	2

しょうがいふくし 障害福祉サービス	げんざい りようじょうきょう 現在の利用状況		こんご りよういこう 今後の利用意向	
	りようちゅう 利用中	りようなし 利用なし	りよう 利用したい	りよう 利用しない
⑨ 就労継続支援（A型） <small>しゅうろうけいぞくしえん がた</small> 通常の事業所で働くことが困難な人に、就労の <small>つうじょう じぎょうしょ はたら こんなん ひと しゅうろう</small> 機会や生産活動その他の活動の機会の提供、知識や <small>きかい せいさんかつどう た かつどう きかい ていきょう ちしき</small> 能力の向上の訓練を行う。（雇用型） <small>のうりょく こうじょう くんれん おこな こようがた</small>	1	2	1	2
⑩ 就労継続支援（B型） <small>しゅうろうけいぞくしえん がた</small> 通常の事業所で働くことが困難な人に、就労の <small>つうじょう じぎょうしょ はたら こんなん ひと しゅうろう</small> 機会や生産活動その他の活動の機会の提供、知識や <small>きかい せいさんかつどう た かつどう きかい ていきょう ちしき</small> 能力の向上の訓練を行う。（非雇用型） <small>のうりょく こうじょう くんれん おこな ひこようがた</small>	1	2	1	2
⑪ 就労定着支援 <small>しゅうろうていちゃくしえん</small> 就労支援を受けて通常の事業所に新たに雇用 <small>しゅうろうしえん う つうじょう じぎょうしょ あら こよう</small> された障がい者に、3年間、就労の継続に必要な <small>しょうがいしゃ ねんかん しゅうろう けいぞく ひつよう</small> な相談、指導などの支援を行う。 <small>そうだん しどう しえん おこな</small>	1	2	1	2
⑫ 療養介護 <small>りょうようかいご</small> 医療が必要な人で、常に介護を必要とする人に、 <small>いりょう ひつよう ひと つね かいご ひつよう ひと</small> 主に昼間に病院などにおいて機能訓練、 <small>おも ひるま びょういん きのうくんれん</small> 療養上の管理、看護などを提供する。 <small>りょうようじょう かんり かんご ていきょう</small>	1	2	1	2
⑬ 短期入所（ショートステイ） <small>たんきにゅうしょ</small> 在宅の障がい者の介護者が病気の場合などに <small>ざいたく しょうがいしゃ かいごしゃ びょうき ばあい</small> 障がい者が施設に短期間入所し、入浴、排せ <small>しょうがいしゃ しせつ たんきかんにゅうしょ にゅうよく はい</small> つ、食事の介護などを行う。 <small>しょくじ かいご おこな</small>	1	2	1	2
⑭ 自立生活援助 <small>じりつせいかつえんじょ</small> 施設入所支援や共同生活援助を受けていた人 <small>しせつにゅうしょしえん きょうどうせいかつえんじょ う</small> が自宅で自立した日常生活を営むため、1 <small>じたく じりつ にちじょうせいかつ いとな</small> 年間、定期的な巡回訪問や随時通報や相談、 <small>ねんかん ていきてき じゅんかいほうもん ずいじつほう そうだん</small> 情報提供・助言を行う。 <small>じょうほうていきょう じょげん おこな</small>	1	2	1	2
⑮ 共同生活援助（グループホーム） <small>きょうどうせいかつえんじょ</small> 夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や <small>やかん きゅうじつ きょうどうせいかつ おこな じゅうきょ そうだん</small> 日常生活上の援助を行う。 <small>にちじょうせいかつじょう えんじょ おこな</small>	1	2	1	2

しょうがいふくし 障 害福祉サービス	げんざい りようじょうきょう 現在の利用状況		こんご りよういこう 今後の利用意向	
	りようちゅう 利用中	りようなし 利用なし	りよう 利用したい	りよう 利用しない
⑯ 施設入所支援 <small>しゅう やかん しせつ にゅうしょ しょう しゃ たい</small> 主として夜間、施設に入所する障がい者に対 <small>にゅうよく はい しょくじ かいご しえん おこな</small> し、入浴、排せつ、食事の介護などの支援を行 う。	1	2	1	2
⑰ 計画相談支援 <small>ふくし かん もんだい かいごしゃ そうだん おう ひつよう</small> 福祉に関する問題や介護者からの相談に応じて、必要 <small>じょうほう ていきょう じょげん おこな</small> な情報の提供や助言などを行う。	1	2	1	2
⑱ 地域移行支援 <small>しょう しゃしえん しせつとう にゅうしょ ひと およ</small> 障がい者支援施設等に入所している人及び <small>せいしんかびょういん にゅういん ひと たいしやう</small> 精神科病院に入院している人を対象に、 <small>じゅうきよ かくほ ちいきいこう む そうだん</small> 住居の確保や地域移行に向けた相談など、 <small>だんかいてき ちいきいこう しえん おこな</small> 段階的に地域移行への支援を行う。	1	2	1	2
⑲ 地域定着支援 <small>きょたく しゃしん かにい じょうきょう かぞく</small> 居宅において単身や家庭の状況により家族の <small>しえん う しょう しゃ ちいきていやく む</small> 支援が受けられない障がい者の地域定着に向 <small>じょうじ れんらくたいせい かくほ</small> けて、常時の連絡体制を確保するとともに、 <small>きんきゅうじたいじ そうだん ほうもん たいおう おこな</small> 緊急事態時の相談、訪問、対応を行う。	1	2	1	2

◆相談相手や情報源について

問30 普段、悩みや困ったことをだれ（どこ）に相談しますか。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|--------------------------------------|------------------------|
| 1. 家族や親せき | 2. 友人・知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 職場の上司や同僚 |
| 5. 施設の職員など | 6. 障がい者に関する団体や家族会 |
| 7. 障がい者相談員 | 8. かかりつけの医師や看護師 |
| 9. 病院のケースワーカー、介護保険のケアマネジャー、ソーシャルワーカー | |
| 10. 相談支援事業所などの民間の相談窓口 | 11. ホームヘルパーなどサービス事業所の人 |
| 12. 民生委員・児童委員 | 13. 市の相談窓口 |
| 14. 県や国の相談窓口 | 15. どこへ相談したら良いかわからない |
| 16. その他（ | ） |

問31 障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから入手していますか。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 本や新聞、テレビ、ラジオ | 2. インターネットやSNS |
| 3. 市の広報紙 | 4. 家族や親せき、友人・知人 |
| 5. 障がい者に関する団体や家族会 | 6. サービス事業所の人や施設職員 |
| 7. 病院などの医療機関 | 8. 相談支援事業所 |
| 9. 市の相談窓口 | |
| 10. その他（ | ） |

◆権利擁護について

問32 障がいがあることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。（○は1つ）

- | | | |
|-------|---------|-------|
| 1. ある | 2. 少しある | 3. ない |
|-------|---------|-------|

↓
問33へ

【問33は、問32で「1.」または「2.」(ある)を選んだ方】

問33 どの場面や場所で差別や嫌な思いをしましたか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 学校等の通学・通園先 | 2. 市役所等の行政窓口 |
| 3. 余暇を楽しむとき | 4. 就業時や就業先 |
| 5. 近所付き合いや地域活動のとき | 6. 公共交通機関を利用するとき |
| 7. 買い物・食事のとき | 8. その他 () |

問34 成年後見制度※についてご存じですか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|-------------------------|
| 1. 名前も内容も知っている | 2. 名前を聞いたことがあるが、内容は知らない |
| 3. 名前も内容も知らない | |

※「成年後見制度」とは、認知症の高齢者や、知的障がい、精神障がいがあるなどの理由で、ご自身で物事を判断する能力が十分でない方の、権利や財産を守るための制度です。

【問35は、問34で「1.」を選んだ方】

問35 成年後見制度を利用しやすくするために、何が必要と考えられますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 費用負担が少ないこと | 2. 情報提供・普及啓発の充実 |
| 3. 身近で相談できる場所や窓口 | 4. プライバシー保護の徹底 |
| 5. 手続きの簡略化 | 6. 後見人などの要件の緩和 |
| 7. 申立人の要件の緩和 | 8. その他 () |

◆災害時の避難について

問36 火事や地震などの災害時に一人で逃げられますか、または避難できますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------|---------|----------|
| 1. できる | 2. できない | 3. わからない |
|--------|---------|----------|

問37 災害時に家族が不在の場合、近所に助けてくれる人はいますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. いる | 2. いない | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

問38 火事や地震などの災害時に困ることは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 投薬や治療が受けられない | 2. 補装具の使用が困難になる |
| 3. 補装具や日常生活用具の入手に困る | 4. 救助を求めることができない |
| 5. 安全な場所までスムーズに避難できない | 6. 被害や避難場所の情報の入手に困る |
| 7. 周囲とコミュニケーションがとれない | 8. 避難場所の設備や生活環境への不安 |
| 9. その他 () | 10. 特にない |

◆虐待について

問39 あなたは、これまでに虐待を受けたことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|-------------|
| 1. ある | 2. ない ⇒問42へ |
|-------|-------------|

【問40～41は、問39で「1.」(ある)を選んだ方】

問40 それはどのような内容ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. 暴力など身体的な虐待 | 2. 言葉など心理的な虐待 |
| 3. 年金など自身のお金の流用 | 4. 性的な虐待 |
| 5. 介護・介助の拒否(ネグレクト) | 6. その他 () |

問41 虐待されたことを信用できる人や機関に相談しましたか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 相談して解決した | 2. 相談したが解決していない |
| 3. 相談しなかったが解決した | 4. 相談しなかったし解決もしていない |

◆身近な介助者の亡き後について

※問42～43は、現在、家族などの身近な介助者がおられる方のみお答えください。

問42 家族などの身近な介助者がお亡くなりになるなどの理由により、いなくなった場合のことを考えたことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 考えたことがある | 2. 考えたことはない |
|-------------|-------------|

問43へ

【問43は、問42で「1.」（考えたことがある）を選んだ方】

問43 家族などの身近な介助者がいなくなった場合、どのようなことが不安ですか。
 (あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------------------------|-------------|
| 1. 住まいのこと | 2. 金銭や財産の管理 |
| 3. 障がいによる行動のしづらさ | 4. 家事や日常生活 |
| 5. 何でも話したり相談できる身近な人がいなくなる | |
| 6. 不安に思うが、何が不安かわからない | |
| 7. 不安に思っているので、そのときに備えて準備をしている | |
| 8. その他 () | |

◆本市の施策について

問44 本市の障がい福祉の取り組みについてどれくらい満足していますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------|----------|--------|
| 1. 非常に満足 | 2. やや満足 | 3. ふつう |
| 4. やや不満 | 5. 非常に不満 | |

問45 障がい者(児)が安心して住み続けられるまちづくりを進めるうえで、次のどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 地域における相談・支援体制の充実 | 2. 障がい者の就労や就労定着の支援 |
| 3. 医療的ケアが必要な障がい者(児)への支援 | 4. 障がい者(児)の余暇活動の場や機会の充実 |
| 5. 障がいに対する市民への理解の促進 | 6. 障がい者(児)差別の解消 |
| 7. 発達障がい者(児)への支援 | 8. 障がい者(児)スポーツ・文化の普及啓発 |
| 9. その他 () | |

問46 最後に、障がい者(児)福祉へのご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

「第4次障がい者福祉プラン・第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画」策定にかかる

関係団体・事業所調査

～ご協力のお願～

本市では現在、「第4次障がい者福祉プラン・第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画」の策定に向けた取り組みを進めています。

このたびは、本市の障がいのある人を取り巻く状況の基礎資料とするため、関係団体・事業所の皆さまのご意見を伺いたいと存じますので、本調査にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

《注意点》

1. 本調査票には、回答者ご自身の経験や意見はもちろんのこと、団体や事業所におられる他の方の経験や意見を反映してご記入いただいて構いません。
2. 該当する選択肢の番号に○、または、ご意見を記入してください。
3. ご記入いただいた調査票は、お忙しいところ恐れ入りますが、令和4年●月●日（△）までに返信用封筒に入れて、社会福祉課障がい福祉係までご返信ください。

【問い合わせ先】

赤穂市 健康福祉部 社会福祉課 障がい福祉係

TEL：0791-43-6833 FAX：0791-45-3396

メールアドレス：shougai@city.ako.lg.jp

問1 あなたの団体・施設の名称と回答者の役職をお答えください。

団体・事業所名	
回答者の役職	
主な対象の種別	1. 身体障害 2. 知的障害 3. 精神障害 4. 発達障害 5. 難病 6. その他（ ）
主な目的と活動内容	

問2 障がい者（児）やその家族などに対する情報提供や相談体制について、公共・民間を問わず、不足していることや今後取り組むべきことはどのようなことだとお考えですか。

--

問3 障がいのある人が自分らしく自立した生活を送るために、就労できる環境作りが大切ですが、そのためにどのようなことが必要とお考えですか。

問4 支援している障がい者（児）やそのご家族などの介助者が、日常の生活において偏見や差別を感じていると思われることをご記入ください。

問5 障がい者（児）やそのご家族などがいつまでも慣れ親しんだ地域で暮らすために、どのような支援や施策が重要だとお考えですか。

※これ以降の設問については、障害福祉サービス事業者のみお答えください。

問6 市内で、どのような障害福祉サービスが不足しているとお考えですか。

問7 市内で、今後新たに実施を予定している障害福祉サービスがありましたら、利用定員数、提供開始時期を教えてください。

※ これで質問は終わりです。ご協力いただきありがとうございました。

障がい者福祉長期計画策定のためのアンケート調査

◆ ご協力をお願い ◆

市民の皆さまには、日頃から赤穂市の障がい福祉行政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

赤穂市では、2024年度（令和6年度）から2029年度（令和11年度）までの6年間を計画期間とする障がい者福祉長期計画の策定を進めています。

このアンケートは、市民の皆さまの障がい福祉に関する意識を調査し、障がい福祉施策を検討する際の資料として活用させていただくためのものです。

お忙しいところ大変申し訳ございませんが、ご協力をお願いいたします。

令和4年11月 赤穂市長 牟礼正稔

●ご記入にあたってのお願い

- 1 このアンケートは、上記の目的以外には使用いたしません。
- 2 ご回答は、質問にしがって、あてはまる番号を○で囲んでください。
- 3 このアンケートは、市内小学校6年生の保護者の方および民生委員の方を対象に実施しています。
- 4 ●月●日までにご回答いただき、封筒に入れて、市内小学校6年生の保護者の方につきましては、担任の先生に提出してください。
民生委員の方につきましては、封筒に入れて市役所へ提出してください。
- 5 アンケート結果は、自由意見記載欄も含め、公開しますので、個人を特定するような情報や誹謗中傷は記載しないでください。
- 6 このアンケートについてのお問い合わせは、下記へお願いいたします。

赤穂市 健康福祉部 社会福祉課 障がい福祉係

☎ 43-6833

FAX 45-3396

メール shougai@city.ako.lg.jp

問1 あなたのお住まいはどこですか。(○印は1つ)

1. 赤穂地区	2. 城西地区	3. 塩屋地区
4. 西部地区	5. 尾崎地区	6. 御崎地区
7. 坂越地区	8. 高雄地区	9. 有年地区

問2 あなたの性別はどちらですか。※男女の2択では選べない場合は3に○をつけてください。

1. 男性	2. 女性	3. その他
-------	-------	--------

問3 あなたの年齢は次のうちどれですか。(○印は1つ)

1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代
5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳代	8. 80歳以上

問4 あなたのご家族またはご近所に障がいのある人はいらっしゃいますか。(○印は1つ)

1. いる	2. いない(問5へお進みください)
-------	--------------------

問4-1 その方はどのような障がいがありますか。(複数回答可)

1. 視覚障がい	2. 聴覚障がい・平衡機能障がい
3. 音声・言語・そしゃく機能障がい	4. 肢体不自由
5. 内部障がい	6. 知的障がい
7. 精神障がい	

問5 障がいのある人に対し、人々の理解は進んでいると思いますか。(○印は1つ)

1. かなり進んでいると思う	2. 進んでいると思う
3. ある程度進んでいると思う	4. あまり進んでいないと思う
5. 進んでいないと思う	6. まったく進んでいないと思う

問6 障がいのある人への理解を深めるためには、何が重要だと思いますか。(○印は1つ)

1. 就業の場を広げる	2. 生活実情や抱えている問題への理解
3. 自由に外出できるようなまちづくり	4. 利用施設を開放し地域住民と交流する
5. 小中学校での障がい者との交流教育	6. 障がい者のイベントへの参加・協力
7. その他()	

問7 日頃の生活の中で、障がいのある人に対する差別や偏見などを感じることはありますか。(○印は1つ)

- | | | |
|----------|----------|-------------|
| 1. よく感じる | 2. 時々感じる | 3. まったく感じない |
|----------|----------|-------------|

問8 問7で、「1. よく感じる」、「2. 時々感じる」に○をつけた方にお伺いします。どのような時に障がいのある人への差別や偏見などを感じますか。(複数回答可)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 学校等の通学・通園先 | 2. 市役所等の行政窓口 |
| 3. 余暇を楽しむとき | 4. 就業時や就業先 |
| 5. 近所付き合いや地域活動のとき | 6. 公共交通機関を利用するとき |
| 7. 買い物・食事のとき | 8. その他 () |

問9 日頃の生活の中で、バリアフリーが進んでいないと感じることはありますか。(○印は1つ)

- | | | |
|----------|----------|-----------|
| 1. よく感じる | 2. 時々感じる | 3. 特に感じない |
|----------|----------|-----------|

問10 問9で、「1. よく感じる」、「2. 時々感じる」に○をつけた方にお伺いします。どんなところで感じますか。(複数回答可)

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 道路や歩道 | 2. 電車やバスなどの公共交通機関 |
| 3. 駐車場 | 4. 利用しやすいトイレが少ない |
| 5. 案内版や案内表示が少ない | 6. 商業施設 |
| 7. 障がいのある人が情報発信する手段が少ない | |
| 8. 公共施設 | 9. その他 () |

問11 あなたはボランティア活動の経験がありますか。(○印は1つ)

- | | | |
|-----------|--------------|------------|
| 1. 現在している | 2. 以前したことがある | 3. したことはない |
|-----------|--------------|------------|

問12 あなたは障がいのある人に対して支援する場合、どのような支援ができるとおもいますか。(複数回答可)

- | | |
|-------------------------------|--------------------|
| 1. 話し相手 | 2. 家事や買い物の手伝い |
| 3. 外出時の付き添いや送迎 | 4. 身体介護の手助け |
| 5. 声かけや様子を見ること | 6. 交流や社会参加の場を設けること |
| 7. 代読・代筆、点訳、手話等のコミュニケーションの手助け | |
| 8. わからない | 9. その他 () |

問 13 障がいのある人もない人も、ともに住みやすいまちをつくるための施策について、どのようなことが必要だと思えますか。(複数回答可)

1. 高齢者、障がい者、児童の施設サービスの充実
2. 公共交通の利便性の確保
3. 道路の段差解消などバリアフリー化の推進
4. 障がいについての理解を進めるための福祉教育や広報活動の充実
5. 就労支援の充実や働く場の確保
6. 自宅での生活を支援する在宅サービスの充実
7. 相談窓口や情報提供の充実
8. 災害時の避難誘導體制の整備・充実
9. 障害福祉サービスの利用手続きの簡素化
10. 保健や福祉の専門的人材の育成と資質の向上
11. 住民同士のふれあう機会や場の充実
12. その他 ()

自由意見記載欄 (ご意見・ご提案があればご記入ください。)